

水害から住民の生命と財産を守るため

大仙市仙北市美郷町地区水防訓練



◀積土のう工を行う
仙南地区の団員



▲川倉工を行う六郷地区の団員



▲シート張工を行う千畑地区の団員

梅雨の出水期に備え、水防機関の技術の向上と水防体制の強化を図るため、大仙市の雄物川河川敷で6月3日、大仙市仙北市美郷町地区水防訓練が行われました。毎年この時期に行われる水防訓練には、本町から田澤清喜・町消防団長が率いる消防団員108人が参加。堤防を保護するための工法を、手順を確認しながら迅速に行い、水防活動に対する士気を高めました。

環境にやさしい町づくり

ISO14001更新審査を完了



▲審査員から業務に関連する書類検査を受ける町職員



▲町の経営者として環境に対する考え方を説明する松田町長

町が環境負荷軽減の取り組みの一環として行っているISO14001の更新審査が5月29日から31日の3日間にわたって行われ、審査の結果、規格に適合し適切に運用されているとの報告を受けました。今回の審査では、町が取り組みを進めている「地販地消」が経済的・地域活性化の側面だけではなく、地球温暖化の原因となる二酸化炭素排出量の抑制につながる施策であるとの評価があり、環境による影響を与える施策として取り組みを行うよう報告がありました。

ISO14001とは？

企業や自治体などの組織が自らの活動から生じる環境負荷を、自主的かつ継続的に減らしていくための経営や仕組みを定めた国際標準規格です。

400人が楽しいひとときを過ごす

海上自衛隊大湊音楽隊コンサート

趣向を凝らした演奏で楽しませてくれた大湊音楽隊



◀観客席の間を曲に合わせて歩くスギッチ

青森県むつ市を拠点に、北海道全域と青森、秋田、岩手の東北3県で幅広い演奏活動を行う海上自衛隊大湊音楽隊によるコンサートが6月3日、仙南公民館で開かれました。この日の曲目は、クラシック音楽ブームのきっかけとなったテレビドラマ「のだめカンタービレ」のエンディング曲「ラプソディー・イン・ブルー」が演奏されたほか、映画「ドラえもん」のび太の恐竜2006の主題歌「ボクノート」を隊員が独唱するなど、子どもから大人まで親しみやすい選曲で、訪れた約400人の皆さんは楽しいひとときを過ごしました。また、アンコールでは秋田わか杉国体イメージソング「Take It real」が演奏され、観客席の間をスギッチが演奏に合わせて歩く演出もあり、国体へ向けた機運を高めました。



▲農道に草花を植栽する町内の活動団体

地域の農村環境の保全と向上のため、地域ぐるみで景観美化などの共同活動を行う「農地・水・環境保全向上対策事業」が、今年度から町内の38活動組織によって行われています。

具体的な取り組みとしては、農道・水路の草刈りや用排水路のせき払い、農道への砂利敷き、景観に配慮した草花の植栽、水質や生態系の保全などを地域の皆さんが一体となって共同作業を行います。

なお、この事業は国と県、そして町の交付金により実施されるもので、事業実施には一定の要件を満たすことが必要となりますが、活動に際しては何より事業を行う組織の構成員である地域の皆さんのご協力が不可欠です。

皆さんが住む地域でこの取り組みを実施しているようでしたら、身近なことから始められる環境活動として、ぜひご参加ください。



「望ましい距離」

美郷町長 松田知己



6月12日、町議会定例会の一般質問に答弁する松田町長。

ラ・ニーニャの影響と目される好天のお陰で、今のところ農作物は全体的に順調です。そのまんま・・・順調に行ってもらいたいものです。

さて、農家であればご存知のように、稲は栽植密度により生長に違いが生じます。栽植密度を高くすると稲はひよろつとなり、低くすると遅くなります。密度の低い栽培は稲が光を受けやすく、栄養を吸収する根圏も広くなるためと考えられますが、だからと言って収量が多いとは限りません。適切な栽植密度、つまり適切な稲株間の距離で単位面積当たりの本数を確保することが、より良い結果に繋がります。

この話、決して水稲だけの話ではありません。人にもパーソナル・スペースという、それ以上近づくと不快に感じる物理的な距離があると言われています。しかし、離れすぎの関係も親近感や信頼感を生みません。コミュニケーション

ションで成立している人間社会ですので、良好な人間関係を形成するには、やはり相手と良好な意思疎通を図れる適切な距離に留意することが大切ではないかと思うところです。

それでは、住民と行政の距離はどうでしょうか。いい町になるにはやはり良好な意思疎通を前提とした、適切な距離があるだろうと私は思います。一般論として、住民と行政には距離があると言われています。やはり、まずは近づける努力が必要です。そのため、私としてはこれまで極力町内の行事には出席するように努めてきたほか、本欄や行政座談会での情報提供等を通じ、より近い行政になるようめざしてきました。

更に今年度は、七月から九月にかけて各行政区を単位とした「やまびこ座談会」を新たに実施することになりました。地域の会館等に気心の知れた方々が集い、ひざを交えて意見交換をすることで行政との距離感を小さくし、望む町づくりに一緒に進んでいきたい気持ちです。希望する行政区に私どもが伺いますので、どうか皆さんには行政区内でご検討いただき、行政協力員を通じて申し込みいただきたいと思います。やっぱり美郷は、小さい合併であるが故に近さを求めたいものです。

7月のふれあい談話室

7月18日(水) 役場六郷庁舎 町長室
午後5時から午後6時30分

問い合わせ

役場(六郷庁舎)町長公室 秘書広報班
☎0187(84)4900